

INFORMATION

人形劇団へ緊急支援を！

本年のコロナウィルスの影響はステージ活動をする方に深刻な影響を与えており、人形劇も例外ではありません。特に文化を継承するための公益法人の人形劇場や団体からは悲鳴ともいえる支援要請の声があがっています。こちらでは2件の公益法人の支援要請をご紹介します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。（こちらでご紹介する団体への個人の寄付は税額控除が受けられます。詳細は各団体へ）

現代人形劇センター

現代人形劇センターは「ひょっこりひょうたん島」で知られるひとみ座が1969年に設立した公益財団。ろう者と聴者が協同する日本で唯一の職業人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」や「乙女文楽」のプロデュース、「シリーズアジアの人形芝居」や欧米の人形劇招へい公演など多様な活動を通して現代の「人形劇のセンター」をめざしています。



海外招聘公演より
(フランス・カンパニニア)

2月以来多くの事業が中止、時期未定の延期の状態です。寄付金は同財団の実施する様々な文化事業及び財団の運営にあてられます。

寄付金 3,000 円以上、金額は自由。 随時募集。
※継続的な支援をする賛助会員も募集中。詳細は下記へ。
特典は公演等の案内やホームページでの氏名記載（希望者のみ）
詳細 URL http://www.puppet.or.jp/index_kifu.html
問合せ
公益財団法人 現代人形劇センター 寄付金担当
TEL 044-777-2228 FAX 044-777-3570
〒 211-0035 神奈川県川崎市中原区井田 3-10-31



江戸糸あやつり人形結城座

「江戸寛永十二年から続く伝統を未来へ継ぐ」
クラウドファンディング

寛永 12 年（1635 年）から続く『国記録選択無形民俗文化財』『東京都の無形文化財（芸能）』に指定されている唯一の「江戸糸あやつり人形」の劇団。寄付金の使途は公演活動継続と、江戸時代から伝わる貴重な人形や道具類、江戸写し絵（幻燈機）の保管・管理に運用されます。寄付金額は 3000 円から特典に応じて選択肢があります。



結城座で保存している古典の頭の一部

募集メ切：12 月 22 日（火）
目標金額：1000 万円
支援方法：クラウドファンディング URL から
<https://readyfor.jp/projects/youkiza>
問合せ
公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座
〒 184-0015 東京都小金井市貫井北町 3-18-2
TEL 042-322-9750(代表) FAX 042-322-3976
URL <http://youkiza.jp/>



公演のお知らせ 山本由也『Session Yoshiya』

谷川賢作、梅津和時をはじめジャズ、民俗音楽など多彩な 18 組の音楽家と山本由也の創作マリオネットが即興で競演する 18 夜
2020 年 11 月 24 日（火）～12 月 12 日（土）※12 月 3 日（木）休演日
開場 18：30／開演 19：00
場所：絵空箱（江戸川橋）東京都新宿区山吹町 361 誠志堂ビル
料金：自由席 3,500 円＋ドリンク代 700 円
指定席（6 席限定）4,000 円＋ドリンク代 700 円

問合せ
yoshiya.session@gmail.com TEL 080-6649-678

ゲスト 11/29 塚本功 11/30 ニーシカトリオ 12/1 梅津和時、Samm Bennett 12/2 伊藤祐里子、大久保牧子、久田祐三 12/4 小栗久美子、森川拓哉 12/5 笠松泰洋、伊藤美恵、北川綾乃 12/6 中田真由美、夏秋文彦 12/7 海沼正利、上野山英里、沈琳 12/8 Christopher Hardy、Andy Bevan 12/9 U-full、Rinamame Drums 12/10 三輪福、Hibiki Kanna 12/11 ホッピー神山 12/12 村木充、熊坂路得子



コヤアラ・クラブ入会条件

入会金なし 年会費 2000 円（更新時に 2 年分一括払いの方は 3900 円になります。）
年 4 回、チーム・コヤアラのニュースレター「KOYAALA 通信」が届きます。
KOYAALA 通信発行時期 3 月 1 日、6 月 1 日、9 月 1 日、12 月 1 日

お申込方法

ゆうちょ銀行の振替口座に年会費 2000 円をご送金ください。
口座名 チーム・コヤアラ
ゆうちょ銀行から 00140-7-358370
他銀行から ○一九店（ゼロイチキユウ店）0358370
※電信送金の方は「〒番号・住所・お名前（本名）・電話番号」もあわせてお知らせ下さい。
・ご入金が確認ができれば、チーム・コヤアラ事務局から最新号と受領証を兼ねた会員証をお送りいたします。次号の発行が直近の場合は、翌号からお送りいたします。
・更新時には、有効期限となる号に更新のお知らせと振替伝票を同封してお知らせいたします。

DM 同封希望の方へ（次の発行日から 3 ヶ月の間に展覧会を予定されている方）
事務局に枚数とメ切をお問い合わせのうえ、発行日の 10 日前までにお送り下さい。発行後に請求書をお送りします。
同封料金 コヤアラ・クラブ会員 2000 円 一般（非会員）3000 円

個人情報について

お預かりしている個人情報はチーム・コヤアラの事務局業務を担当する羽関オフィスが厳重に管理いたします。名簿は「KOYAALA 通信」発送に使用させていただく他、チーム・コヤアラの趣旨に沿って有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用しません。チーム・コヤアラ以外の第三者が閲覧・使用することはありません。

チーム・コヤアラ事務局
189-0003 東京都東村山市久米川町 3-27-57 羽関オフィス内
TEL 042-395-7547（担当 はぜき）
URL <http://koyaala.jp> Email team_koyaala@yahoo.co.jp
KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ
© KOYAALA TSUSHIN 2020, printed in Japan 本地記載の記事・画像の無断使用・転載を禁じます。



KOYAALA 通信 No.44

Dec. 2020



KOYAALA 通信は、チーム・コヤアラがコヤアラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。発行日 3 月 1 日、6 月 1 日、9 月 1 日、12 月 1 日

interview

横浜人形の家

ちと 長尾千斗さん（事業企画）

最近の横浜人形の家はカラーが少し変わったと感じていました。8 月に HAZEKI OFFICE が開催した「FAN みそ！」展（KOYAALA 通信 43 号参照）に横浜人形の家で企画を担当されている長尾千斗さんが来場されたのをきっかけに、今度は横浜人形の家で長尾さんを訪ねて話をお聞きすることができました。企画だけでなく、表現者としての顔を持つ長尾さんは、学生時代から人形は重要なテーマだったようです。

取材・文 羽関チエコ



横浜人形の家は 1986 年 6 月に現在の横浜市中区で開館しました。世界 100 力国以上、一万点以上の人形が収蔵されている人形専門の博物館です。平田郷陽、堀柳女、鹿兒島寿蔵、野口園生、市橋とし子の 5 名の人間国宝が制作した作品のほか、日本初の女性通訳として活躍した大野英子や太田ますい氏が世界各国で収集し当館に寄贈した人形も、とても貴重で見ごたえのあるコレクションです。

—私は 90 年代に何度か訪れましたが、今の人形の家はその頃とは印象がかなり変わりましたね。

どんな感じで変わりましたか？

—以前は展示数の多さに圧倒される感じがしました。今はテーマ毎に人形が個別に見やすくなっているように思います。

実は私はここで働いてまだ 1 年なのですが、常設展は 10 年以上前に 1 度リニューアルされ、テーマ毎に紹介する展示となりました。過去と比べたら、そういう意味で印象が変わっているかもしれないです。また、お子さんも、若者ももっと来やすい場所にしていこう、たくさんの方に来ていただけるようにしよう、という方針で多種多様な企画展に取り組んでいます。指定管理者制度になって、特に企画展に力を入れています。

—そうすると体制が変わり、企画の方が展示を提案できるようにになっているんですね？

そうですね。企画に関しては自由度は高い感じです。今

回もチェブラーシカ展の企画を持ち込み、進めさせてもらいました。個人的には日本の球体関節人形の展示にも興味があり、企画を進めています。今は清水真理さんの人形が展示されています。また、企画のほかにも学芸員さんの仕事をアシストするので、古いビスクドールなど実際に展示するときなどは、とても良い勉強の機会になります。ここには本当に貴重なコレクションや資料がたくさんあるんです。長い間保管されてた人形を展示のために箱から開けるときは、「こんにちは」なんて、つい声を掛けてしまいます。

—本当に人形がお好きなんですね。このお仕事につくまで、どのような経緯があったのでしょうか？

私は公立で初めて映像芸術科を作った高校の一期生でした。そこで人形のコマ撮りのアニメーションを作ったのですが、「青い目の人形」をテーマにして第二次世界大戦前後のアメリカと日本の関係を自分なりに解釈した作品を作りました。人形は好きだったので、コマ撮りに夢中になってしまいました。その後、多摩美（術大学）に入学してコマ撮りのアニメを撮ったりしていました。そこで大学の先生に清水真理さんを紹介されて、清水さん



ロシアのアニメ「チェブラーシカ」がロシアのオリジナル版スタッフの協力を得て、27年ぶりに日本を中心に製作された。3階企画展示室の「チェブラーシカとロシアのかわいい人形たち」展では、2010年に日本で制作された人形アニメ「チェブラーシカ」で使われたジオラマや人形が見られます。(2021年1月17日まで開催)



清水真理「Alice in Circus」

のところで自分の映像を撮るための人形を作り始めたんです。そして母と子をテーマにして、コマ撮りの作品を作ったりしました。私は完成された人形を作るより、人形を動かしたいという気持ちが先に立っていました。

—今後の企画への抱負などありますか？

土井典さんの作品展が実現できたらいいなと思っています。時代の多様な「美」が大眾に受け入れられ、時代がようやくニキ・ド・サンファルや土井典に追いついてきたという感覚があります。現在の「ジェンダー」や「多様性」をめぐる社会状況を考えても、造形作品として素晴らしいのはもちろんですが、「土井典」という女性人形作家をこの時代にこそ取り上げることは重要だと考えています。ハードルが高い目標ですが、挑戦したいと思っています。

私は入れ物としての身体をずっと考えていました。マシュー・バーニー（註1）の影響もあって身体は簡単に拡張できる、自分の身体を物や人形のようにとらえてい



「セルロイド人形ってなあに？」展（終了） セルロイド制作工程の貴重な資料を展示



「平田郷陽の子どもたち」展（12月6日まで）では、横浜人形の家が所蔵する作品を一挙に公開。木彫でありながら息をのむほど瑞々しい生命感を生み出す技は、今も追隨を許さない。子の人形だけでなく、名作「粧ひ」「児と女房」も展示。

た時期があって、その頃は痛みの感覚が自分から乖離してました。でもその後で、いろいろな意味での痛みやコンプレックスを感じるようになり、自分はさまざまな刷り込みに生かされていたと思ったんです。子供のときに親しんできた人形にも刷り込みが相当あったんじゃないかと思えてきて、文化庁が東大と一緒にやっているAMSEA（註2）というアートと社会学のプロジェクトに入って性別や国籍、宗教や民族による差別や貧困などの社会問題を勉強し、それらを包摂するようなアートの可能性を探る展覧会を企画したりしました。

だから、最近アメリカで出たジェンダーフリーのバービーには衝撃を受けました。男の子にも女の子にもなれるバービーで、残念ながら日本ではまだ入荷されていないです。「お母さん」「お父さん」と役割を設定してきた遊び方が、こういう人形でこれからどう変わっていくのか、かなり興味を持っています。

—これからが楽しみです。どうもありがとうございました。

註1 アメリカの現代美術家。人体をテーマに彫刻や映像作品を制作。代表作に『拘束のドロ잉』『クレマスター』などがある。
註2 <https://amseaut.blogspot.com/>

横浜人形の家
〒231-0023 横浜市中区山下町 18 番地 TEL：045-671-9361
開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで） 休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）・年始年末
入館料 大人 400 円 小・中学生 200 円
これからの展示「東京トガリ ヨコハマやてきたよ！」2020 年 12 月 19 日（土）～2021 年 2 月 23 日（火祝）
※入館料の他に、別途企画展料（大人 200 円 / 小中学生 100 円）が必要になります。

北海道創作人形グループ AiDocka 第 3 回創作人形展

11 月 5 日～11 月 10 日 道新ギャラリー（札幌市）

REPORT

AiDocka（アイ・ドッカ）は皆川優子さんの呼びかけで 2014 年に発足した北海道在住の創作人形グループです。2 年おきにグループ展を行っていて、3 回目の今回は素材、作風の異なる多様な 9 人の作品展示となりました。「Ai」は人形への「愛」、「Docka」はスウェーデン語で「人形」を意味するそうです。フェルト、粘土、樹脂、ガレージキットなど素材や動機は異なっても、共通する人間への関心、人形

への思いを感じます。傾向が偏りがちな創作人形展で、人形の面白さを改めて感じさせる展観です。コロナ感染への心配が高まるなかでしたが、感染予防対策を十分に行っての開催となりました。

展示を記録した動画は下記リンク、または右 QR からご覧になれます。(下記画像も動画より)
<https://youtu.be/MvmCciLwAi4> 撮影 成瀬光昭



土屋さつき



鈴木千鶴子



成瀬麻里子



佐々木昭子



大山雅文



主催作家 皆川優子

訃報 土井典さんを偲んで

羽関チエコ

今号の取材をきっかけに、気になっていた土井典さんの消息を追ったところ、4 年前に逝去されていたことがわかりました。87 才だったそうです。わかったのはそれだけでした。

土井さんについてはここ数年、関係者のあいだで連絡がとれないと安否が気遣われていました。私も『DOLL FORUM JAPAN』や企画を担当した東京都現代美術館での「Doll of Innocence 球体関節人形展」でお世話になりました。なんのご挨拶もできないまま、本当に残念です。同じ思いに沈む人は少なくないでしょう。

土井さんが新潟から上京し、女子美術大学を卒業したのが 1955 年。卒業後勤めたマネキン会社でウィンドウディスプレイなどを手がけている頃に堀内誠一氏と出会い、氏が澁澤龍彦氏と編集していた『血と薔薇』のために小道具で参加しました。土方巽氏や暗黒舞踏家が装着する美しい貞操帯やペニスケースは土井さんが制作をしたものです。しかし当時は女性だてらにスキャンダラスな小道具を作るとマスコミからバッシングされ続け、マスコミ不信になったと伺いました。

作家活動では身体と女性性を探り肥満体の女性をモ

チーフにするようになり、作品は寺山修司氏氏のコレクションにもなりました。他にも種村季弘、三島由紀夫、アラーキーなど昭和の文化を牽引した人たちがその仕事を評価していたことに対し、社会の評価はこの令和時代においても追いついていません。

その理由として「女性」や「人形」を軽んじてきたこの国の本質的な社会構造に思いが及びます。

マグマのような 70 年代アートシーンから生まれた土井さんの人形は、今の私たちに大きな宿題を残したと思います。

土井典さんのご冥福を心からお祈りいたします。 合掌

2004 年 1 月
「Dolls of Innocence 球体関節人形展」(東京都現代美術館) 設営のときの土井典さん
photo Ukai Yumiko

